

競技・審判上の注意

1. 本大会は、令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程・公認審判員規程により行います。
2. 競技中の服装については、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とします。着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示については大会運営規程24条を厳守して下さい。なお、背面については、所属クラブ名・都道府県名の両方を必ず明示してください。明示なき場合、失格となる場合もあります。また、ゼッケンを使用する場合、四隅止めとしてください。ウェア上の広告は事前に申請された内容で、規定にしたがって表示すること。
3. 背面のチェックは、試合開始前に担当役員がコートで確認します。
4. 対抗戦は、一般男子・一般女子の部は、第1複―第1単―第2複の順、で行い、成年男子・壮年男子A・年代別混合Aについては、若い年代から順番に行います。予選リーグは全てのマッチを行い、順位決定トーナメントは勝敗決定後打ち切りとします。
5. 審判は、予選リーグおよび決勝トーナメントの準々決勝までは主審・線審(2名)・得点係を相互審判とします。決勝トーナメントの準決勝・決勝はすべて(主審・サービスジャッジ・線審(4名)・得点係)を主管で行います。ただし、成年男子団体戦は、すべての試合を主審のみ主管で行い線審(2名)・得点係を相互審判とします。
6. 試合の進行は、試合番号順に流し込み方式で行いますのでコールに注意してください。ただし、番号順で始められない試合がある場合、試合順を変更することがあります。
7. オーダー用紙の提出について
 - (1) 第1日目の10時開始予定の試合は、9時15分までにオーダー用紙提出所に提出して下さい。以後の対抗戦は、本部よりコールしますので、早急に、オーダー用紙提出所に提出して下さい。(但し、前の対抗戦が終わっていない時は、終了後ただちに提出して下さい。)
 - (2) オーダー用紙は、所定の用紙に記入し提出して下さい。なお、提出後の変更は認めません。
 - (3) 第2日目、3日目の第1試合目のオーダー用紙は当日8時45分までに提出して下さい。
8. 第1日目は9時30分から開会式を執り行います。出場選手は全員フロアに集合して下さい。第2試合目以降の監督・コーチ・プレーヤーは本部のコールに従い、速やかにコートに集合して下さい。コール後10分を経過しても出場選手が確認できない場合は棄権とみなす場合があります。
9. マッチ開始前のウォームアップは、対戦チームとあいさつを交わした後、マッチ毎に主審が審判台に座った時から「(ラブオール)プレー」のコールまでの3分間ですが、主審の「レディートウプレー(マッチ開始の準備をして下さい。)」のコールで練習を終了し、マッチ開始の準備をして下さい。
10. コーチ席を各コートに2席設置します。着席できるのは、監督・コーチ・プレーヤーに限ります。プレーヤーが着席する場合にも、コーチの服装に関する規程(公認審判員規程第5条第12項(8)(9))が適用されます。長ズボンまたはスカートを着用して下さい。インターバル中に競技区域に入れるのは、同時に2名までとします。
11. 判定に疑問がある時は、当該プレーヤーと監督に限り主審に質問できますが、抗議や異議は認められていません。
12. シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。またシャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。
13. 水分補給、汗拭き等については、主審の許可を得た上で行って下さい。コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しませんので、バッグ等を持参し、主審側コートサイドに置き、汗ふき用のタオル・予備のラケット・水分補給用の容器は各自のバッグに収納して下さい。容器は、スクイズボトル・ペットボトルなど、倒れてもこぼれないもの(蓋付き)として下さい。また競技区域及びベンチへのク

ーラーボックス等の持ち込みは禁止します。なお、試合中の氷嚢の使用については、インターバルのときのみとします。

14. 汗を手で拭い、コート内外(競技区域)に投げ落とす行為については、不品行な振る舞いに相当するものとみなします。(競技規則第16条第6項の4)
15. 競技フロアでは、競技者(監督、プレーヤー等)の携帯電話、パソコンなどのモバイル機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源をOFFにしてください。
[公認審判員規程第5条第12項(5)(6)]。モバイル機器を使用している試合中のアドバイス・コーチングは禁止されています。
16. 棄権の扱いについては以下のとおりとします。
 - (1) 大会期間中に棄権したプレーヤーは、その対戦のマッチには出場できないが、その後の勝ち上がったトーナメントやリーグ戦には再びマッチに出場できる。
 - (2) 勝敗決定後のメンバー変更は認めません。
 - (3) マッチ途中、棄権となったマッチについて、取得ゲーム率等を計算する際には、ゲームカウントは2-0とし、ポイントは21-0・21-0とします。
 - (4) 試合中のケガや病気については、主審の判断によってレフェリーまたはデピュティレフェリーを呼び、レフェリーまたはデピュティレフェリーが医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。
17. 対抗戦が連続する場合、15分間の休憩を認めます。
18. マッチ終了時に、勝敗に関係なく主審・サービスジャッジにお礼の意味を込めて一礼するように心がけてください。

一般上の注意

1. 体育館の開館は 8 時 20 分です。2 階入り口から入って受付をして下さい。観覧席は都道府県毎に席を指定しております。
2. 2 階通路及び観覧席は土足を使用して下さい。1 階に降りる際はフロア入り口で体育館シューズに履き替えて下さい。(土足でフロアに入らないようにして下さい。)
3. 3 階・4 階の観客席は使用禁止・立入禁止となりますのでご注意ください。
4. 監督会議は 8 時 50 分から会議室で行います。各チームの代表者は出席して下さい。
5. 練習時間は設けません。各マッチの開始前に 3 分間の練習時間を設けます。
練習の開始は、主審の合図があるまでは行わないでください。
6. オーダー用紙は第 1 日目は 9 時 15 分までに、第 2 日目以降は 8 時 45 分までにオーダー用紙提出所に提出して下さい。
7. 第 1 日目は開会式を 9 時 30 分から執り行います。
出場選手は全員フロアに集合して下さい。
開会式が終了しましたら第 1 試合目の監督・コーチ・プレーヤーは開会式 10 分前までに指定コートに集合して下さい。
8. ゴミはすべて各自で持ち帰り、処分してください。
9. カメラ・ビデオ機器類(同様の機能を有する携帯端末等を含む)による撮影について、競技フロアでは一切禁止とします。会場観覧席で撮影する際には以下のことに注意してください。
 - ・フラッシュ等の競技の妨げになるものは使用禁止です。
 - ・会場内のコンセントは使用禁止です。
 - ・他の観客・選手の妨げとならないよう注意してください。特に三脚等の使用には注意してください。
 - ・会場内での写真撮影・ビデオ録画は個人での鑑賞目的のみとしてください。
第三者が閲覧可能なインターネットや SNS 等への掲載はご遠慮下さい。
10. 競技中の事故(けがや病気)は、主管県にて応急処置のみ行いますが、その後の処置については各自あるいはチーム等で対応してください。
なお、参加者全員、大会用傷害保険に加入していますので、処置後すみやかに大会本部へ連絡をお願いいたします。
11. 会場本部席側の手すりにクラブ旗等を取り付ける場合は、テープで貼り付けずに必ず紐で取り付けてください。
12. 大会運営規程により、原則として第 1 位～第 3 位までの表彰については競技終了後行います。なお、大会全競技終了後、表彰式を兼ねた閉会式を行いますので、最終日の第 1 位から第 3 位の監督・選手は参加して下さい。